

愛媛県の地震

2022年（令和4年）3月

目次

1. 愛媛県周辺の震央分布図	1
2. 地震概況（3月）	1
3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（3月）	2
4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震 の震度分布図（3月）	2
5. 地震一口メモ 日向灘及び南西諸島海溝周辺の 地震活動の長期評価の改訂について	3

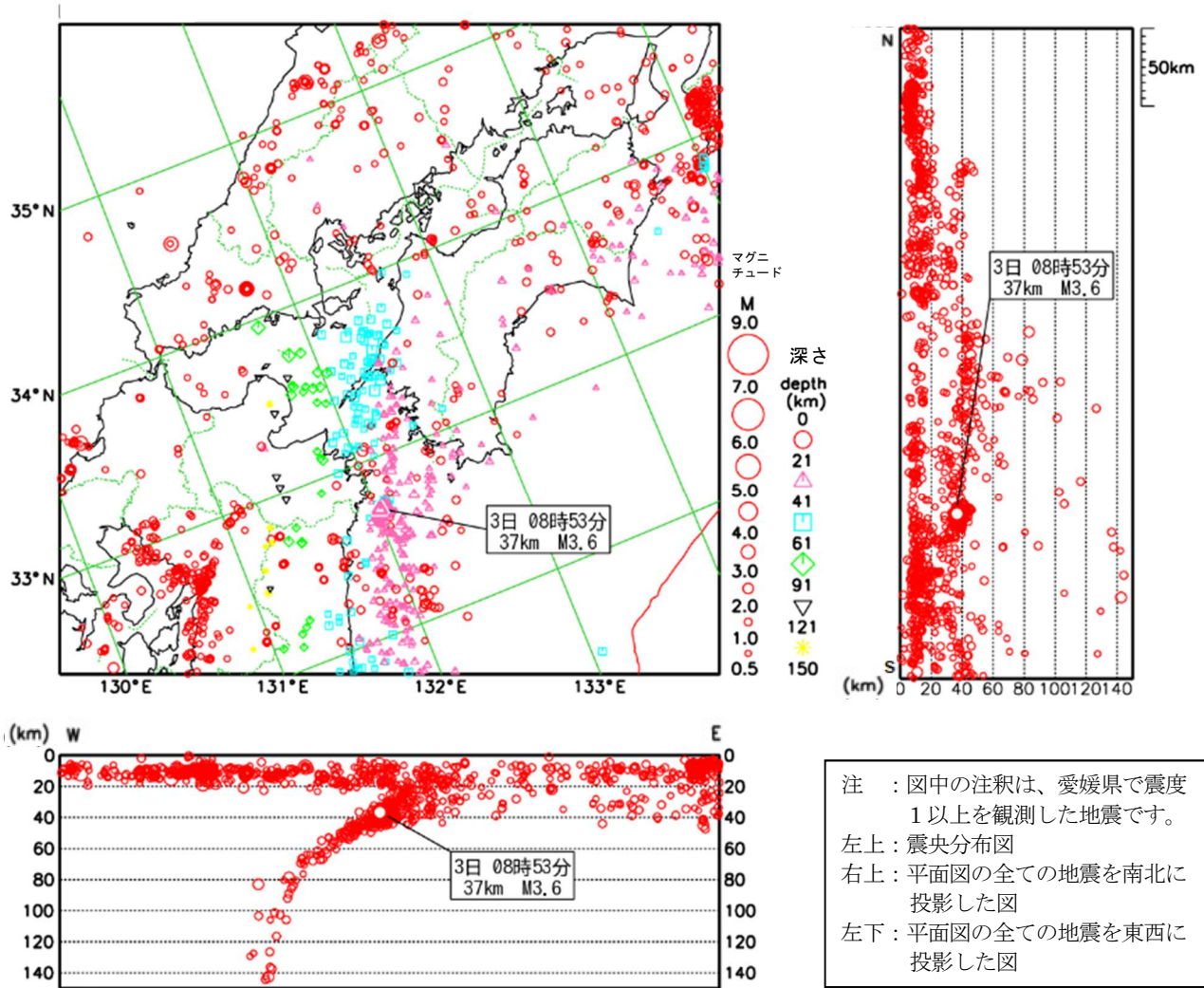
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2022年3月1日～3月31日]



震央分布図は地震が発生した場所を地図上でプロットしたものです。地震は地下で発生しますのでシンボルマークの形を深さに応じて変えています。○より◇の方が深い場所で発生した地震です。また、シンボルマークの大きさを地震の規模（マグニチュード）を表現しています。

2. 地震概況（3月）

今期間に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうちM2.0以上の地震の回数は84回（先月は123回）、愛媛県内で震度1以上を観測した地震は1回（先月は2回）でした。

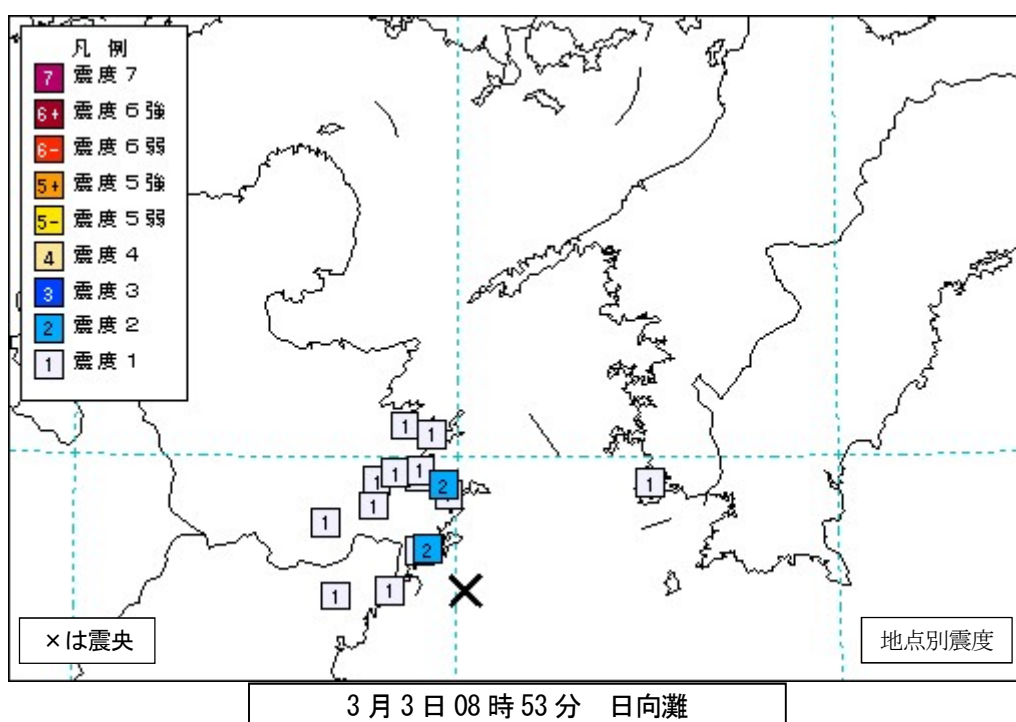
3日08時53分日向灘の地震（深さ37km、M3.6）により、愛媛県愛南町で震度1を観測しました。また、大分県佐伯市で震度2～1を観測したほか、大分県津久見市、宮崎県延岡市で震度1を観測しました。

3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（3月）

震源時（日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
愛媛県内各地の震度						
2022年03月03日08時53分	日向灘	32°42.3' N	132°01.4' E	37km	M3.6	最大震度1
----- 地点震度 -----						
愛媛県 震度 1：愛南町船越*						

注：*印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図（3月）



5. 地震一口メモ

日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価の改訂について

地震調査委員会は、これまでに海溝型地震の長期評価を行ってきており、日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動については、「日向灘および南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価」（平成16年公表）として公表していました。

この長期評価公表以降、日向灘及び南西諸島海溝周辺では、調査観測・研究が大きく進展し、長期評価に有用なデータが蓄積されつつあります。そこで、長期評価手法の検討途上ではありますが、これまでに得られた新しい調査観測・研究の成果を取り入れ、その評価を改訂し、令和4年3月25日に「日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価（第二版）」を公表しました。

今回の長期評価の改訂により、愛媛県に近い日向灘周辺の地震に関して評価対象領域・地震を再編し、マグニチュード8程度の巨大地震と、マグニチュード7.0から7.5程度のひとまわり小さい地震について評価しました。また、安芸灘～伊予灘～豊後水道で発生するマグニチュード6.7から7.4程度の地震についても領域を拡大したうえで再び評価しました。

この長期評価では、日向灘で発生するマグニチュード7.0から7.5程度の地震と、安芸灘～伊予灘～豊後水道で発生するマグニチュード6.7から7.4程度の地震は、今後30年以内に発生する確率が長期評価のなかで最も高いランクⅢ（26%以上）となっています。

いずれの地震でも、発生すれば甚大な被害を及ぼす可能性がありますので、日頃から耐震補強や家具の固定などの対策を講じておくことが重要です。

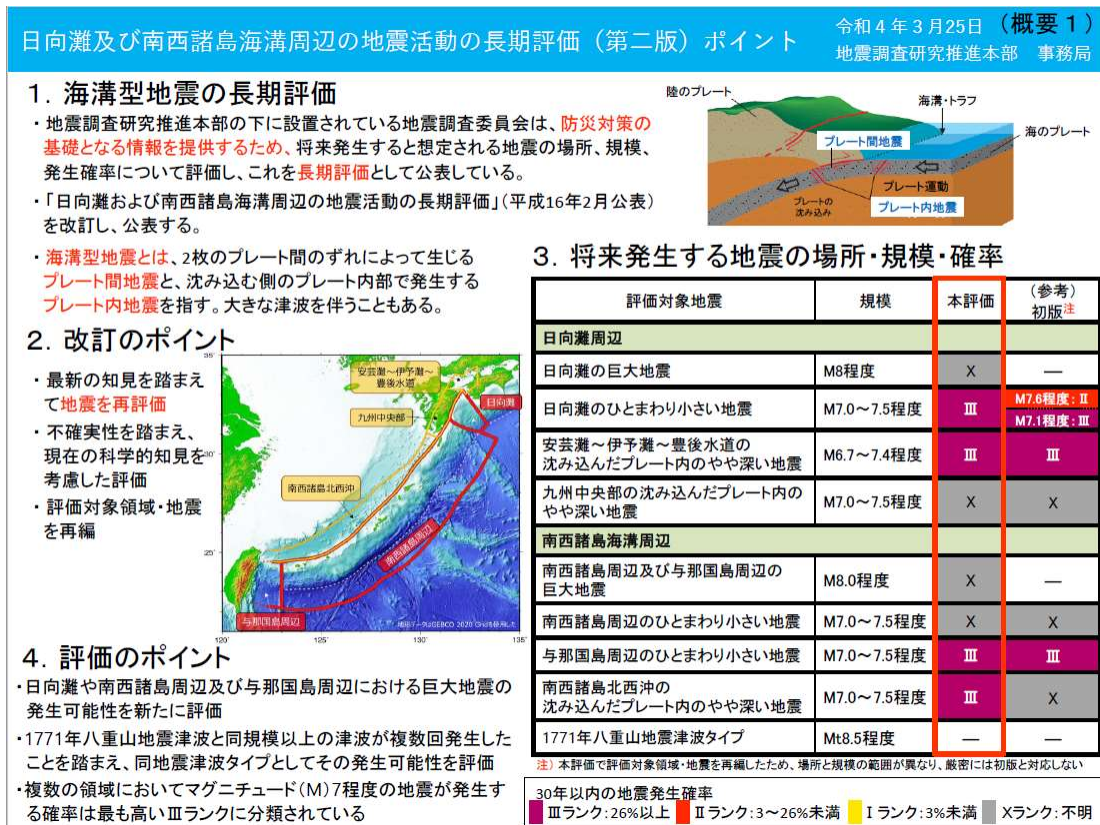


図1 日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価（第二版）ポイント
地震調査研究推進本部ホームページ (<https://www.jishin.go.jp/>) より引用